

きになる梨情報



第64号

令和2年3月16日 県南農林事務所 経営・普及部門（土浦地域農業改良普及センター）

- 3月13日現在、県園芸研究所の「幸水」の満開期は、平年よりも7日早い予測です。今後の気温が高く推移した場合、土浦地域の「幸水」の開花も平年より早まる可能性があります。
- 開花が前進した場合、晩霜害発生の危険性が高まります（一般的に、午後6時に8℃、午後9時に4℃になると危険だと言われています。※品種や生育ステージ等により変化します）。
- 予測最低気温（例：水戸地方气象台）とほ場の最低気温の差を観測したり、氷水を使ってほ場の温度計が正確かどうか確認する等、晩霜害対策の事前準備をお願いします。
- 生育が前進した場合、参考防除例の時期（〇月〇旬など）にこだわると、薬剤散布の適期を逃すおそれがあります。生育状況をこまめに観察し、薬剤散布が遅れないよう、生育ステージに合わせた防除を行いましょう。

1 開花予測

※別紙資料（作成元：県園芸研究所 果樹研究室）をご参照ください。

2 「黒星病」の薬剤防除は「催芽～萌芽期」から始まります

3月13日現在、土浦地域において、開花時期の早い品種（新高、にっこり等）では「催芽期」を過ぎているほ場が確認されています。

ナシ「黒星病」の重要防除時期は「催芽～萌芽期」から始まるため、花芽の生育ステージをしっかりと観察し、その他の管理作業も計画的に進めながら、効果的な薬剤防除を実施できるよう準備をお願いします。

3 防霜ファンの動作確認と燃焼資材の準備をしておきましょう

- (1) 【燃焼法】過去に使用した石油缶（一斗缶）の半さい缶をお持ちの場合は、鉄板等をフタにして火力を調整しながら、ロックウールや剪定枝チップ等を芯にして灯油等を燃やし、ほ場の温度を上げることも検討しましょう。
- (2) 当普及センター管内では、燃焼法で晩霜害を回避した例がたくさんあります。夜中に行う作業のため大変ですが、「やれば回避できる」手段があることを確認しましょう。